

# 第4期 pES club シナリオ 4

平成 17 年 4 月 24 日  
虎の門病院分院 内科総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

あなたは名羅手部総合病院内科病棟の 6 年目看護師です。主任であるあなたは、月 1 回休日に、急患室の日勤当直看護師を担当します。

ある日、日勤当直中に比在泰くん(8 歳男児)が母親に連れられて急患室を受診しました。話を聞くと、公園のジャングルジムで友達と遊んでいたところ、3 段目の高さから誤って落ちてしまい、膝を打ったということでした。比在くんは地面に打った右膝を痛がっていましたが、外見上は軽い擦り傷程度で目立った外傷はなく、痛いという割には足を引きずる様子もなく、普通に歩いていました。ただ、母親はひどく心配しており、もし骨折していたら、きちんと治さないと成長に影響が出るので、骨折していないかどうか見て欲しいと話しました。

名羅手部総合病院では、休日と夜間は放射線当直がおらず、必要時にオンコールの放射線技師を呼び出す申し合わせになっています。あなたは、膝の骨に骨折がないか確認するためにはレントゲン写真を撮る必要があるだろうと考えましたが、オンコールの技師が病院に到着して撮影準備ができるまで 1 時間程度かかることから、時間の節約のため、先に放射線技師を呼んでから、外科当直の医師を呼びました。

外科当直の剣先頼太先生は整形外科が専門ですが、軽く診察した後、「これは骨折していないね。痛いときに使えるように、痛み止めの薬だけ出しておくよ」と言いました。あなたが、レントゲン写真は必要ないのかと尋ねると、Ottawa Knee Rule というのがあり、それに当てはめると骨折している可能性はほとんどないと言えるため、撮らなくて良いのだと答えました。

あなたは、放射線技師を呼んでしまった手前もあるため、Ottawa Knee Rule とはどのようなものか、それに当てはめると本当に骨折ではないことが分かるのか、急いで調べてみることにしました。

## 第 4 期 pES club シナリオ 4 (追加シナリオ)

平成 17 年 4 月 24 日  
虎の門病院分院 内科総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

比在泰くんがジャングルジムから落ちたとき、お母さんはそばで比在くんの同級生のお母さんとおしゃべりしていました。事故に気づいたお母さんは、比在くんの右膝にできた傷をハンカチで押さえながら、すぐに自宅に戻り、自分の車で名羅手部総合病院に連れて行きました。

比在くんは、ジャングルジムの高さ約 150cm の所から落ちたため、お母さんはひどく心配していました。しかし、比在くんの右膝は、外見上擦過傷のみで、発赤や腫脹は認められませんでした。右腓骨上部の圧痛や右膝蓋骨の圧痛はなく、右膝の他動的進展も full range で可能、加重歩行にも問題ありませんでした。膝から落ちたため、右膝以外に特に痛がっている場所はありません。

比在くんは身長 125cm、体重 26kg です。生まれてこのかた特に大きな病気はしたことがなく、特に常用している薬もないそうです。